



神社の発展を願う林原総代長

2本の木が1本に 「合縁の榊」でにぎわいを

倉谷 寶宮神社

倉谷の寶宮神社（入江雅彦宮司）の境内で、根元は別々で幹でつながって1本になっているサカキが神木として整備され、「合縁の榊」と名付けられました。

平成17（2005）年に境内の整備で樹木を伐採していた氏子さんが発見。今年の本殿建立100周年記念事業で命名され、柵や砂利などを敷き詰めて憩いの場として整備されました。木の高さは10メートルを超え、地面から約1・3メートルの部分で一体化しています。林原伸忠総代長（74歳・下前谷）は、「このサカキを縁結び、夫婦円満のご利益につなげて神社が発展していけばと思います」と話しています。

ことぶき学級 花回廊で学習



地域のスポーツ活動に 貢献 体育指導委員協議会 功労者表彰



表彰状を手にする松田一さん

名和公民館のことぶき学級生65人が11月4日（火）、南部町にあるとっとり花回廊に出かけました。当日は晴天に恵まれ、真っ赤に広がるサルビアの丘や動物やハート形など見事にしたてられた菊の花を楽しみました。

また、フラワードームでは、花回廊トップマネジャーの矢澤秀成さんから、「花回廊の花たち」というテーマでお話をうかがうことができました。お話のあとは学級生から矢澤さんへ質問タイム。肥料を与えるタイミングやイチゴの栽培のポイントなどを教えてもらいました。

花回廊見学と各方面で活躍される矢澤さんのお話を聞くことができ、学級生は、充実した秋の一日を楽しみました。

11月2日（日）・3日（月）の2日間、日南町総合文化センターおよび江府町総合体育館で平成20年度鳥取県体育指導委員研究大会が開かれました。その中で体育指導委員の松田一さん（53歳・押平2区）が、10年以上の間、大山町の体育・スポーツの振興に努めた功績を認められ功労者表彰を受賞されました。特に剣道の普及、青少年への剣道の指導など熱心に活動されている松田さんは「表彰していただきうれしく思います。体育指導委員はいろいろなイベントに参加でき、ニュースポーツなども体験できます。体を動かすことが好きなので、これからも続けられる限りがんばりたいです」と受賞の喜びと抱負を話していただきました。